

HIYOSHI CAMPUS CALENDAR

JANUARY-FEBRUARY-MARCH 2007

2007.1.1. 発行 第104号

慶應義塾大学(日吉) HIYOSHI CAMPUS CALENDAR 編集部(日吉キャンパス事務センター運営サービス内) 編集・発行

スキーとスノーボードの季節到来!

学生健康保険委員会企画

スキーハウスのご案内
1泊2食付で2,500円!!

スキー、スノーボード、そして温泉が楽しめるスキーハウスを是非ご利用ください。

慶應義塾大学の福利厚生機関が主催する企画のため、格安でご利用いただけます。

申込開始日: 2007年1月9日(火)

利用期間: 2007年2月14日(水)~2月27日(火)

場所: 「五八木荘」新潟県妙高高原 JR妙高高原駅よりバスで30分/ゲレンデまで徒歩5分/池袋駅から直通バスも有

<http://www7.ocn.ne.jp/~gohatigi/>

宿泊費: 2,500円(1泊2食付)

予約受付場所: 各キャンパス学生総合センター(SFCは事務室)

問合せ: 慶應義塾大学学生健康保険委員会

トレーニングルーム内委員会室

(Tel: 045-561-0443)

申込の際は必ず代表者の印鑑をお持ちください。

大学生生活懇談会

第21回スキーとスノーボードの集い

日時: 2007年2月6日(火)~2月9日(金)(3泊4日)

場所: 新潟県妙高市 赤倉観光リゾートスキー場
宿舎「赤倉山荘」

主催: 慶應義塾大学学生総合センター「大学生生活懇談会」
参加費: 16,500円(往復バス代、3泊宿泊代、3夕・朝食代含む)

個人負担分: 昼食代、リフト代、貸スキー・スノーボード代

募集人数: 学生35名(先着順)

スノーボードは初心者、初級者に限ります。

申込・問合せ: 各地区学生総合センター(SFCは事務室)

申込時には参加費を添えて申し込んでください。

締切: 2007年1月19日(金)

ただし定員になり次第締め切ります。



日吉キャンパス情報

日吉メディアセンター

【冬季長期貸出の返却期限】

冬季長期貸出の返却期限は、1月15日(月)です。

* 返却期限の更新(延長)はできません。

* 延滞した場合、延滞金がかかります。

* 他地区メディアセンターでも返却ができます。

【1月の臨時閉館】

1月14、21、28日(日) 開館時間 10:00~18:00

* 慶應義塾在籍の大学学部生・大学院生・教職員および塾員の方が利用できます。

(学外者は利用できません)

* 館内閲覧、貸出、返却、更新、セルフコピー機、インターネットエリアのサービスが利用できます。

* AVコーナーの利用、レファレンスサービス、4階フロアの利用、オペレータ付き複写サービスは行いません。

【学部学生の塾内図書取寄せサービス停止期間】

秋学期試験開始に伴い、三田・理工・湘南藤沢・看護医療の各メディアセンターからの図書取寄せサービスを以下の日程で停止します。

日程：1月16日(火)~1月29日(月)

* 信濃町メディアセンター、白楽サテライトライブラリー、山中資料センターからの図書取寄せサービスは通常通り実施します。

【春季開館日程】

2月6日(火)~4月7日(土) 春季休業期間中の開館時間は以下のとおりです。

平日：8:45~18:00

土曜：8:45~16:00

* 日曜・祝日は休館します。

* 入学試験および蔵書点検のため2月13日(火)~24日(土)の間は休館します。

【春季長期貸出】

貸出日

通常1ヶ月貸出の図書：1月6日(土)~3月15日(木)

通常2週間貸出の図書：1月23日(火)~3月31日(土)

返却期限 4月16日(月)

但し 学部卒業予定の方の返却期限 3月13日(火)

大学院修了予定の方の返却期限 3月19日(月)

* 貸出冊数に変更はありません。

* 長期貸出の資料は返却期限の更新(延長)ができません。



国際センター

2007年度慶應義塾大学派遣交換留学生 (春期募集)

出願期間 2007年3月13日(火)~3月16日(金)

詳細については、「2007年度留学のてびき・派遣交換留学募集要項」または、国際センターホームページ(<http://www.ic.keio.ac.jp/>)で確認してください。

「2007年度留学のてびき・派遣交換留学募集要項」は国際センターで配布しています。

イベント情報

三田 アート・センター

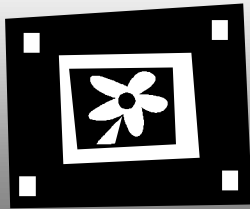
ゼロックス・コレクションによる版画展
引用と創造 ウォーホル、ホックニー、オルデンバーグ
Citation & Creation: Warhol, Hockney, Oldenburg, from Fuji Xerox Print Collection

開催日時：2007年2月4日(日) - 2月10日(土)

11:00 - 17:00 無休・入場無料

開催場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 東館展示スペース

問合せ：art-c@minato.adst.keio.ac.jp



アート・センターは港区と共同してアート・マネジメント実践講座を開催し、その一環として充実したコレクションを所蔵するゼロックス版画コレクションによる展覧会を開催いたします。

主催：港区 / 慶應義塾大学アート・センター

協力：富士ゼロックス株式会社 / 横田茂ギャラリー

教養研究センター

発表力の競演
「アカデミック・スキルズ」プレゼンテーション・コンペティション

「アカデミック・スキルズ / 」を受講した学生約60名の中から選ばれた代表がリサーチとプレゼンテーションの能力を競い合います。1年間の学習成果を是非ご覧ください。

日時：2007年2月8日(木) 時間帯未定

会場：シンポジウムスペース (来往舎1階)

対象：塾生、塾教職員

主催・問合せ：教養研究センター toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

* 申込不要 (無料)

詳細は、1月中旬掲示予定ポスター (教養研究センター掲示板) を参照



一貫教育の冒険

幼稚舎生から卒業生までが『福沢諭吉の手紙』を朗読する

日時：2007年2月4日(日) (福沢先生命日の翌日) 14:00 ~ 15:00 (開場 13:30)

会場：幼稚舎 自尊館

協力：鈴木秀樹 (幼稚舎)、前北馨 (中等部)、速水淳子 (志木高校) 2006年12月6日現在

主催・問合せ・申込先：教養研究センター toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

* 要申込

詳細は、1月中旬掲示予定ポスター (教養研究センター掲示板) を参照



イベント情報

教養研究センター

第4回バリアフリーセミナー

「軽度発達障害の世界を知る

思春期・青年期の生きにくさへの理解と援助に向けて」

『京都大学における高機能自閉症者の 支援システムと支援の実際』

現在、発達障害の症状と向き合いながら、大学に通っている多くの学生がいますが、大学での適切な支援もなく、彼・彼女たちは“生きにくさ”に苦しんでいます。大学をあげてこの問題に取り組んでいる京都大学の事例を中心に、具体的な支援の在り方についてご講演いただきます。

日時：2007年1月12日（金）17：30～19：00

場所：来往舎1階 シンポジウムスペース

講師：高橋 和子（アルクラブ統括ディレクター）

司会：高山 緑（慶應義塾大学理工学部）、

中野 泰志（慶應義塾大学経済学部）

主催：平成17年度文部科学省 学術フロンティア推進事業バリアフリーキャンパス構築プロジェクト（教養研究センター特定研究）

* 申込不要・参加自由（無料）

講演内容

日本の多くの大学では、現在、発達障害のある学生への十分な支援体制は整えられていない、あるいは模索しているのが現状です。そのような中で、京都大学では大学全体で発達障害のある学生への支援体制を構築しています。

セミナー第4回目は、高橋和子氏をお招きし、京都大学における高機能自閉症者の支援システムと支援の実際について詳しく語っていただきます。ご自身の経験をもとに、大学事務局、学生相談室、教員等とともに支援システムを構築するにあたっての具体的な経緯、構築した支援システムの内容、支援の実際などについてご紹介いただきます。また、日本の大学で取り組まれ、効果をあげているいくつかの支援の在り方についてもお話していただく予定です。

問い合わせ先：日吉心理学研究室（TEL：045-566-4373）

<http://psylab.hc.keio.ac.jp/>

イベント報告

慶應コレギウム・ムジクム演奏会

（終了報告）

去る12月20日（水）にキャンパス・カレンダー前号掲載の「慶應義塾コレギウム・ムジクム演奏会」が催されました。演奏会には約350人にもものぼる観客が足を運び、非常な盛況をみせました。その客層は広く、学生、教職員はもちろんのことキャンパス周辺住民の姿も多く、吹き抜ける来往舎の厳しい寒さの中、一時間弱の演奏に最後まで熱心に耳を傾けて頂けました。

キャンパス・カレンダーでは引き続きコンサート・イベント情報の紹介を行っていきます。

以下は演奏会の詳細と曲目になります。ご参考としてください。

慶應義塾コレギウム・ムジクム演奏会（終了）

日時：12月20日（水）16：45開演

場所：来往舎1階イベントテラス 入場無料

曲目：モーツァルト レクイエム K. 626 より抜粋
…ほか5曲

演奏：慶應義塾コレギウム・ムジクム

ソプラノ独唱：松下聡子

オーケストラ指揮：石井明（慶應義塾大学経済学部助教授）

オルガン独奏・合唱指揮：佐藤望（慶應義塾大学商学部助教授）

通奏低音：広澤麻美（東京藝術大学講師）

主催・問合せ：日吉音楽学研究室（TEL：045-566-4359）



撮影：石戸晋